



# AppsWF ワークフロー設定ガイド

Ver.1.4

## 改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/08/22	新規発行
1.1	2019/10/04	「1.3 ワークフロー設定画面を開くには」に「1.3.1 Salesforce 連携の操作手順」を追加
1.2	2019/12/26	「3.1.2 ルート詳細の設定」に手順、項目説明を追加 「3.2 案件プロパティ定義の設定」に項目説明を追加 「3.5 フロー定義の設定」に項目説明を追加
1.3	2020/03/06	「1.3.1 kintone 版の操作手順」に手順、項目説明を追加 「1.3.2 Salesforce 版の操作手順」に手順、項目説明を追加
1.4	2022/06/21	kintone に関する記載を削除 「Salesforce 版の操作手順」という表記を「Salesforce 連携の操作手順」に変更

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。  
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記していません。

## 本書の使い方

本書は株式会社オプロが提供する「AppsWF」のワークフロー設定ガイドです。

本書をご利用いただくことで、ワークフローの設定に関する操作手順を理解できることを目的としています。

AppsWF の動作環境の設定については、「AppsWF セットアップガイド」を参照してください。

AppsWF の操作については、「AppsWF ユーザガイド」を参照してください。

## 本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
<b>注意</b>	操作上の注意事項について記載しています。
<b>Point</b>	操作するうえで知っていると便利なポイントについて記載しています。
<b>参照</b>	本書における参照先を記載しています。
<b>[ ]</b>	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
<b>「 」</b>	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

# 目次

---

<b>1. はじめに</b> .....	<b>5</b>
1.1 概要.....	5
1.2 制限事項.....	5
1.3 ワークフロー設定画面を開くには.....	6
1.3.1 Salesforce 連携の操作手順.....	6
<b>2. マスタ管理</b> .....	<b>11</b>
2.1 ユーザの設定.....	12
2.2 組織の設定.....	14
2.2.1 新規組織の作成.....	14
2.2.2 ユーザの所属組織設定.....	16
2.3 ロールの設定.....	17
2.4 パブリックグループの設定.....	19
<b>3. ワークフロー管理</b> .....	<b>20</b>
3.1 ルート定義の設定.....	21
3.1.1 ルート定義の登録.....	21
3.1.2 ルート詳細の設定.....	22
3.2 案件プロパティ定義の設定.....	26
3.3 ルール定義の設定.....	27
3.4 コンテンツ定義の設定.....	29
3.4.1 コンテンツ定義の登録.....	29
3.4.2 コンテンツ詳細の設定.....	31
3.5 フロー定義の設定.....	34
3.6 フロー画像の生成.....	37

# 1. はじめに

ここでは AppsWF のワークフローエンジンに関する概要や操作上の制限事項について説明します。

## 1.1 概要

AppsWF のワークフローエンジンは、「intra-mart ワークフロー」を利用しています。  
intra-mart ワークフローは、申請や承認といった処理内容や処理の流れをフロー定義に設定します。

## 1.2 制限事項

ワークフロー設定における推奨ブラウザは、次のとおりです。

種別	ハードウェア	OS	ブラウザ	クライアントタイプ
PC	PC/AT 互換機	Windows 7 SP1	Internet Explorer 11 Google Chrome 53 以上 Firefox ESR 45.x	[PC]
		Windows 8.1 Update	Internet Explorer 11 (デスクトップ用 Internet Explorer) Google Chrome 53 以上 Firefox ESR 45.x	[PC]
		Windows 10	Internet Explorer 11 Google Chrome 53 以上 Firefox ESR 45.x	[PC]
	Mac	Mac OS 10.10 以上	Safari 9.0 以上	[PC]
スマートフォン	iPhone 端末	iOS 8.4.1 以上	Safari	[PC]
	iPad 端末	iOS 8.4.1 以上	Safari	[PC・SP]
	Android 端末	Android 4.4 以上	Google Chrome	[PC]

## 1.3 ワークフロー設定画面を開くには

ワークフローエンジンの設定画面を開くまでの操作手順を説明します。

### 1.3.1 Salesforce 連携の操作手順

Salesforce 連携の操作手順を説明します。

1. 使用している Salesforce 組織にシステム管理者権限でログインします。



**Point** 前回、AppsWF が起動している状態でログアウトした場合、今回のログイン時に AppsWF が同時に起動します。この場合、次の操作は手順 4 から実施してください。

2. 画面左上の [  ] をクリックします。



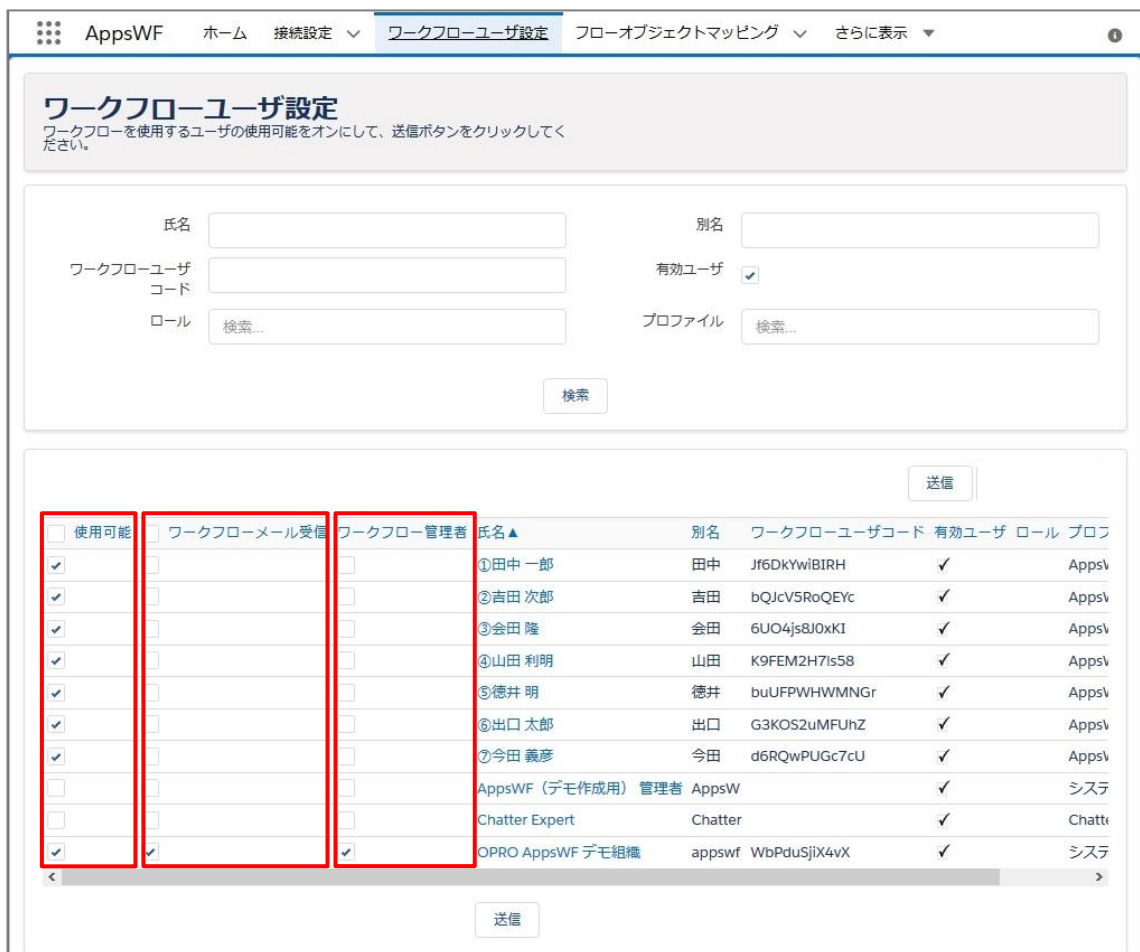
3. アプリケーションランチャーが表示されます。[AppsWF] をクリックします。



4. AppsWF の画面が表示されます。[ワークフローユーザ設定] タブをクリックします。



5. Salesforce のユーザが表示されます。ユーザに対し、以下の設定を行います。



項目名	入力必須	説明
使用可能	-	該当ユーザがワークフローを使用する場合はチェックをつけます。
ワークフローメール受信	-	申請／承認が実施された際に該当ユーザが処理者に割り当てられた場合、通知メールを受信する場合はチェックをつけます。
ワークフロー管理者	-	該当ユーザをワークフローの管理者とする場合はチェックをつけます。 チェックを付けると、intra-mart にてワークフローの設定を行うことが可能となります。 また、メールテンプレートが削除されるなどして、メール送信が実施できない場合に管理者宛にメールが送信されます。

6. 「送信」ボタンをクリックし、intra-mart に Salesforce のユーザ情報を送信します。

The screenshot shows the 'ワークフローユーザ設定' (Workflow User Settings) page. At the top, there are navigation tabs: 'AppsWF', 'ホーム', '接続設定', 'ワークフローユーザ設定' (selected), 'フローオブジェクトマッピング', and 'さらに表示'. Below the tabs is a header section with the title 'ワークフローユーザ設定' and a sub-header 'ワークフローを使用するユーザの使用可能をオンにして、送信ボタンをクリックしてください。' (Turn on the usability of users who use the workflow, and click the send button).

The main content area contains a search form with the following fields: '氏名' (Name), '別名' (Alias), 'ワークフローユーザコード' (Workflow User Code), '有効ユーザ' (Active User) with a checked checkbox, 'ロール' (Role) with a search input, and 'プロフィール' (Profile) with a search input. A '検索' (Search) button is located below the form.

Below the search form is a table of users. The table has columns: '使用可能' (Usable), 'ワークフローメール受信' (Receive Workflow Email), 'ワークフロー管理者' (Workflow Administrator), '氏名▲' (Name), '別名' (Alias), 'ワークフローユーザコード' (Workflow User Code), '有効ユーザ' (Active User), 'ロール' (Role), and 'プロフ' (Profile). The table contains 10 rows of user data. A '送信' (Send) button is located at the top right of the table area. At the bottom of the table, there is a '送信' (Send) button highlighted with a red box.

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	氏名▲	別名	ワークフローユーザコード	有効ユーザ	ロール	プロフ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	①田中 一郎	田中	Jf6DkYwiBIRH	✓	Appsv	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	②吉田 次郎	吉田	bQJcV5RoQEYc	✓	Appsv	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	③会田 隆	会田	6UO4js8J0xKI	✓	Appsv	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	④山田 利明	山田	K9FEM2H7ls58	✓	Appsv	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑤徳井 明	徳井	buUFPWHWMNGr	✓	Appsv	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑥出口 太郎	出口	G3KOS2uMFUhZ	✓	Appsv	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑦今田 義彦	今田	d6RQwPUGc7cU	✓	Appsv	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Appswf (デモ作成用) 管理者	Appswf		✓	システ	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Chatter Expert	Chatter		✓	Chatte	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	OPRO Appswf デモ組織	appswf	WbPduSjIX4vX	✓	システ	



7. [設定画面を開く] をクリックします。

**ワークフローユーザ設定**  
ワークフローを使用するユーザの使用可能をオンにして、送信ボタンをクリックしてください。

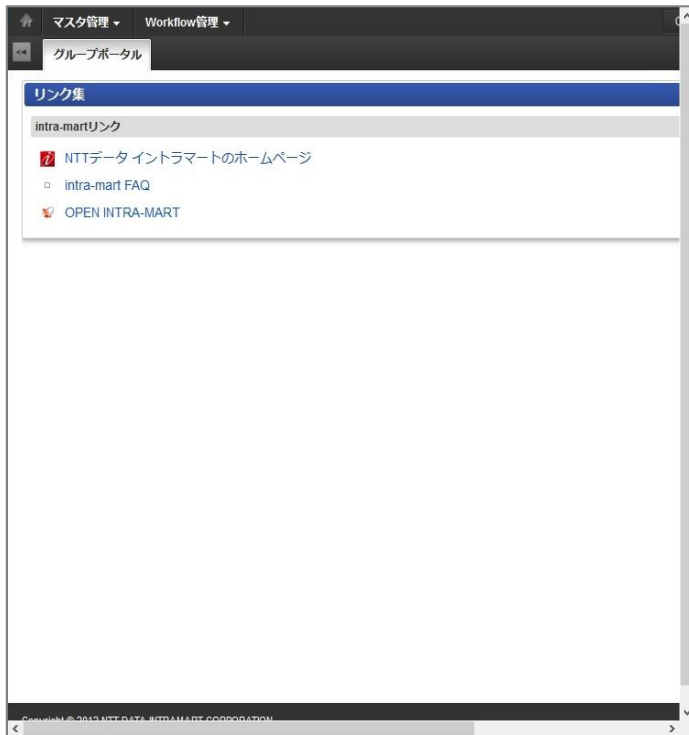
氏名  別名   
 ワークフローユーザコード  有効ユーザ   
 ロール  プロファイル

<input type="checkbox"/> 使用可能	<input type="checkbox"/> ワークフローメール受信	<input type="checkbox"/> ワークフロー管理者	氏名▲	別名	ワークフローユーザコード	有効ユーザ	ロール	プロフ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	①田中 一郎	田中	Jf6DKYwiBIRH	<input checked="" type="checkbox"/>	Appsv	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	②吉田 次郎	吉田	bQJcV5RoQEYc	<input checked="" type="checkbox"/>	Appsv	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	③会田 隆	会田	6UO4js8J0xKI	<input checked="" type="checkbox"/>	Appsv	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	④山田 利明	山田	K9FEM2H7Is58	<input checked="" type="checkbox"/>	Appsv	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑤徳井 明	徳井	buUFPWHWMNGr	<input checked="" type="checkbox"/>	Appsv	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑥出口 太郎	出口	G3KOS2uMFUHz	<input checked="" type="checkbox"/>	Appsv	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑦今田 義彦	今田	d6RQwPUGc7cU	<input checked="" type="checkbox"/>	Appsv	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	AppsWF (デモ作成用) 管理者	AppsW		<input checked="" type="checkbox"/>	システ	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Chatter Expert	Chatter		<input checked="" type="checkbox"/>	Chatti	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	OPRO AppsWF デモ組織	appswf WbPduSjIX4vX		<input checked="" type="checkbox"/>	システ	

**Point**

[ワークフロー管理者]にチェックが入った状態で情報を送信済みのユーザには、[設定画面を開く]ボタンが表示されます。

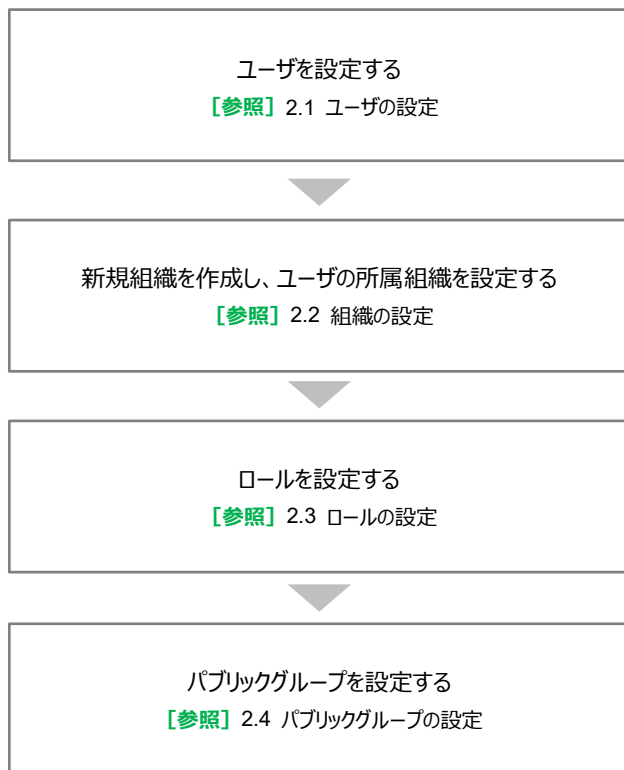
8. ワークフローエンジンの設定画面が表示されます。



## 2. マスタ管理

AppsWF のワークフローエンジンにおけるマスタデータを設定します。

2 章における手順の流れは次のとおりです。



## 2.1 ユーザの設定

AppsWF の管理アプリからユーザ情報を同期することにより、Salesforce に登録されているユーザ情報が、ワークフローエンジンに自動で登録されています。そのため、新規に登録する必要はありません。

**注意** ユーザの追加や削除をしないように注意してください。

ユーザ情報を確認します。

1. 「マスタ管理」にマウスオーバーして、「ユーザ」をクリックします。



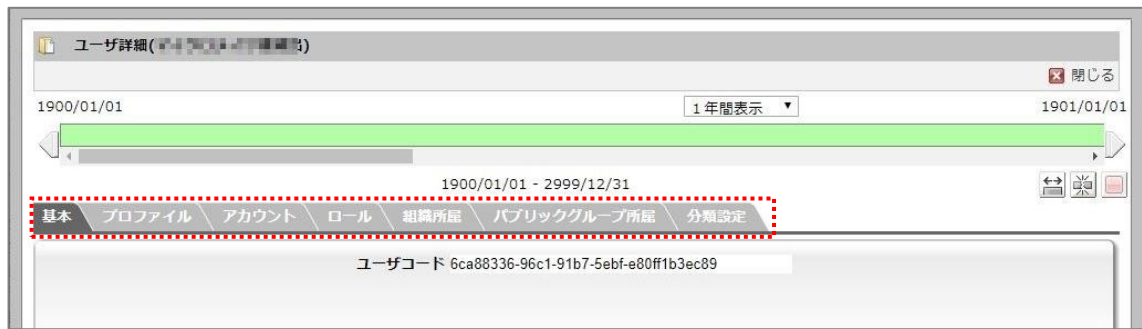
2. 「ユーザ検索」画面が表示されます。必要に応じて検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックします。



3. 検索結果が表示されます。内容を確認したいユーザの [編集] をクリックします。

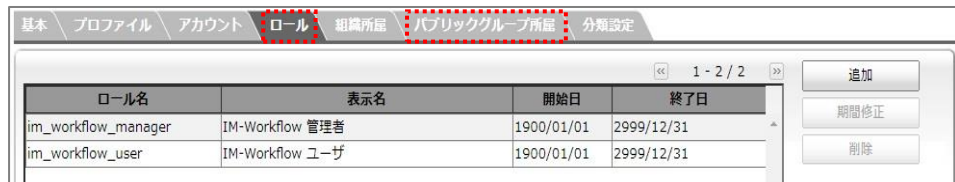


4. ユーザ詳細画面が表示されます。各タブをクリックして内容を確認します。



**Point**

[ロール] タブや [パブリックグループ所属] タブで、ロールや所属を追加できます。



## 2.2 組織の設定

組織を作成し、組織にユーザを設定します。

**注意** ユーザは組織に所属している必要があります。必ず組織にユーザを設定してください。

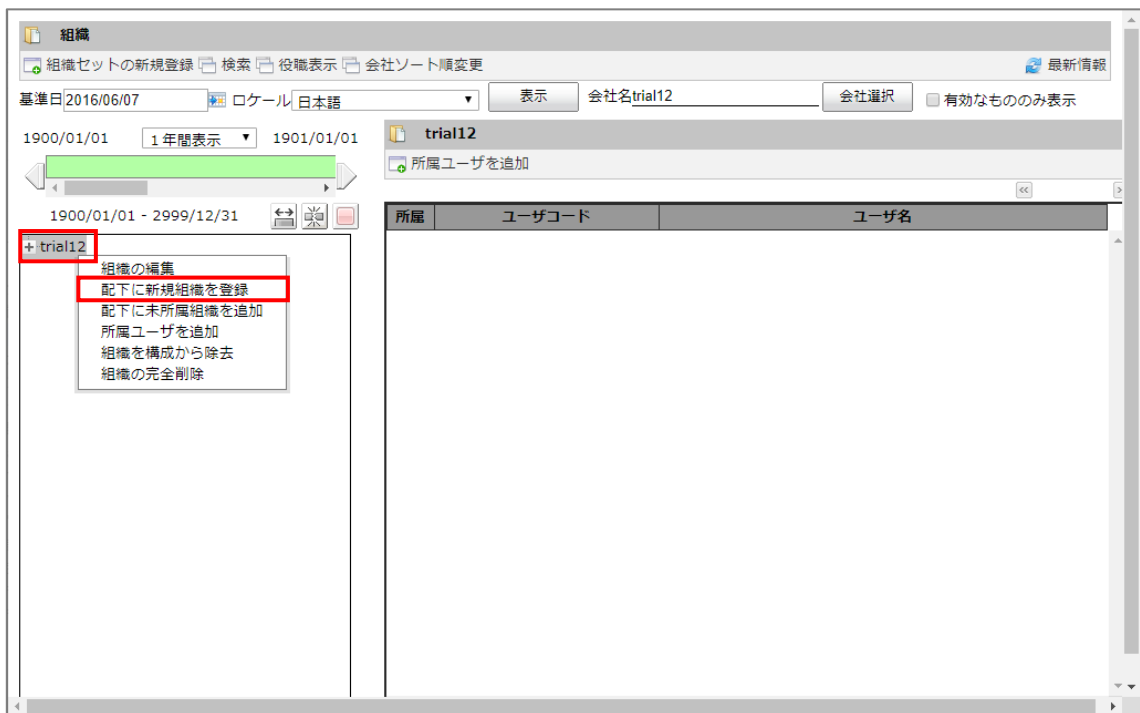
### 2.2.1 新規組織の作成

新しく組織を作成します。

1. 「マスタ管理」にマウスオーバーして、「組織」をクリックします。



2. 「組織」画面が表示されます。  
組織名を右クリックし、「配下に新規組織を登録」をクリックします。



3. [基本] タブが表示されます。

「組織コード」「名称」とその他必要な項目を入力し、[登録] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Basic' tab of the organization settings. The current language is 'Japanese' and the current company name is 'trial12'. The 'Organization Code' field contains '5iic71mfixuke2' and the 'Name' field contains '開発部'. Other fields like 'Abbreviation', 'Search Name', 'Country Code', 'Postal Code', and 'Addresses' are empty. The 'Register' button is located at the bottom right.

**Point**

英語や中国語で登録する場合は、「他ロケール設定」ボタンをクリックします。

This screenshot is similar to the previous one but highlights the '他ロケール設定' (Other Localization Settings) button in the top right corner of the form.

「国際化項目一括設定」画面が表示されます。

日本語の内容と同じで問題ない場合は、[日本語からコピー] をクリックします。

The screenshot shows the '国際化項目一括設定' (Internationalization Item Batch Setting) dialog box. The current company name is 'trial12'. The 'Language' dropdown is set to 'English'. The 'Name' field contains '開発部'. The 'Copy from Japanese' button is highlighted with a red box.

## 2.2.2 ユーザの所属組織設定

作成した組織にユーザを設定します。

1. ユーザを所属させる組織を選択し、[所属ユーザを追加] をクリックします。

The screenshot shows the '組織' (Organization) management screen. On the left, a tree view shows the organization structure for 'trial12', with '開発部' (Development Dept) highlighted. A red box highlights the '所属ユーザを追加' (Add member user) button. A table on the right lists users with columns for '所属' (Department), 'ユーザコード' (User Code), and 'ユーザ名' (User Name).

所属	ユーザコード	ユーザ名
	e072caca-9c8b-7d84-31c9-7ce69cd	
	f7074b5e-5a5a-8368-f18b-f3e0500c	
	78a66638-5d41-f40d-653d-315af55	

2. 「ユーザ検索」画面で所属させるユーザを選択し、[決定] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'ユーザ検索' (User Search) dialog box. The 'キーワード' (Keyword) field is empty. The search criteria are set to '名前' (Name), 'コード' (Code), and 'フリガナ' (Kana). A red box highlights the '決定' (Decision) button at the bottom right.



## 2.3 ロールの設定

必要に応じてロールを設定します。

承認者や管理者などの権限ごとにロールを作成してユーザを紐付けることで、ルート定義における処理対象者を効率よく設定できます。

**注意** あらかじめ登録されているロールは使用しないでください。  
ただし、ロール名「im\_workflow\_user」は、使用できます。（下記 Point を参照）

**Point** ロール名「im\_workflow\_user」には、Salesforce から連携された全ユーザが紐付いています。  
全ユーザが申請する処理の対象者にこのロールを設定することで効率よくルート定義を行えます。

1. 「マスタ管理」にマウスオーバーして「ロール」をクリックし、「ロール一覧」画面で「新規登録」をクリックします。



2. 「ロール登録」画面が表示されます。  
「ロール ID」「ロール名」「表示名」とその他必要な項目を入力し、[登録] ボタンをクリックします。

The image shows the 'Role Registration' (ロール登録) form. The 'Role Information' (ロール情報) section contains the following fields: 'Role ID' (ロールID), 'Role Name' (ロール名), 'Category' (カテゴリ), and 'Display Name' (表示名). The 'Display Name' field is a table with columns for 'Language' (日本語, 英語, 中国語 (中華人民共和国)) and 'Display Name' (表示名). The 'Sub-Role' (サブロール) section contains a search bar and a table with columns for 'Role Name' (ロール名) and 'Display Name' (表示名). The 'Registration' (登録) button is highlighted at the bottom.

3. 確認メッセージが表示されます。[決定] ボタンをクリックします。



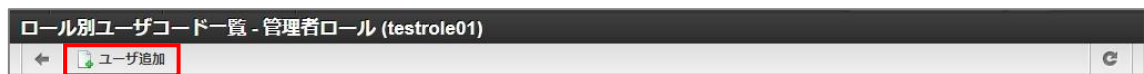
4. 完了メッセージが表示されます。



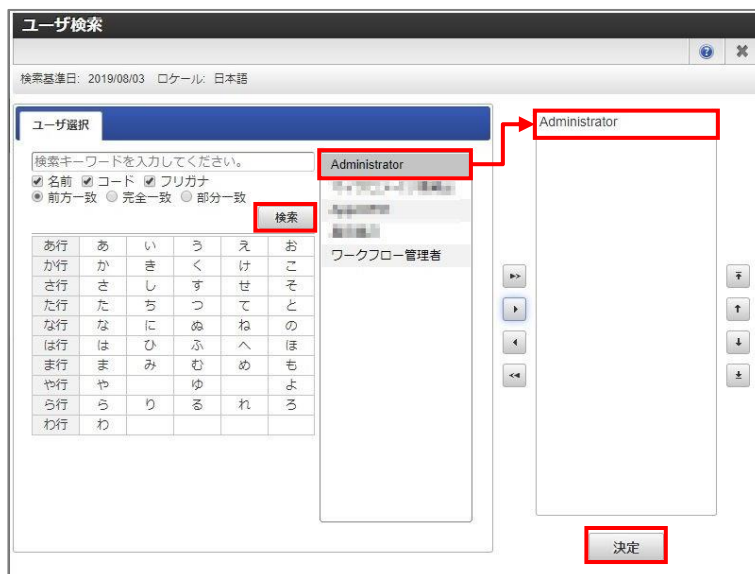
5. 「ロール一覧」画面で登録したロールの [ ] をクリックします。



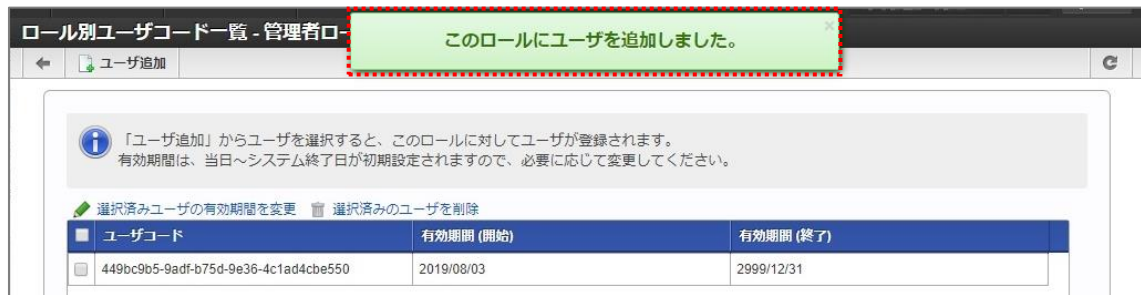
6. 「ロール別ユーザコード一覧」画面が表示されます。[ユーザ追加] をクリックします。



7. 「ユーザ検索」画面が表示されます。検索条件を入力して [検索] ボタンをクリックします。検索結果からロールに紐付けるユーザを選択して、[決定] ボタンをクリックします。



8. 完了メッセージが表示されます。ユーザコードが追加されていることを確認します。



**Point** ユーザにロールを追加する場合は、「ユーザ詳細」画面で設定します。

**[参照]** 「2.1 ユーザの設定」

## 2.4 パブリックグループの設定

必要に応じてパブリックグループを設定します。

パブリックグループ（公開グループ）を作成してユーザを設定することで、ユーザをグルーピングできます。

**Point** パブリックグループを設定する操作手順は、「IM-共通マスタ 管理者操作ガイド」（以下の URL）を参照してください。

[http://www.intra-mart.jp/document/library/iap/public/im\\_master/im\\_master\\_administrator\\_guide/texts/basic\\_guide/basic\\_guide\\_2.html](http://www.intra-mart.jp/document/library/iap/public/im_master/im_master_administrator_guide/texts/basic_guide/basic_guide_2.html)

# 3. ワークフロー管理

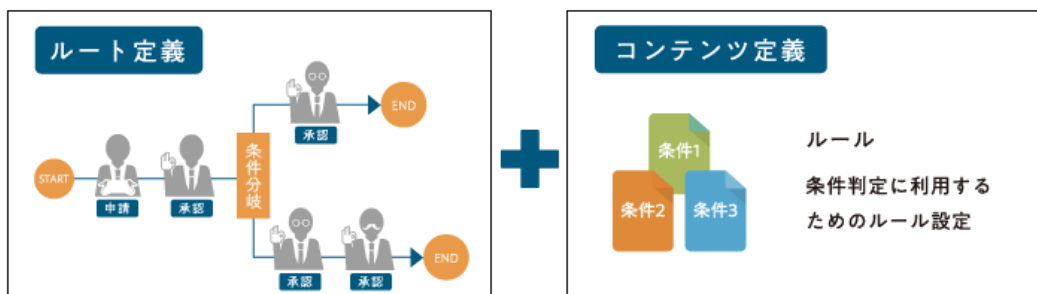
ルート定義やコンテンツ定義、フロー定義を設定します。

3章における手順の流れおよび各定義の概要は次のとおりです。



ルート定義とコンテンツ定義を、フロー定義に設定することでワークフローが機能します。イメージ図は以下のとおりです。

## フロー定義



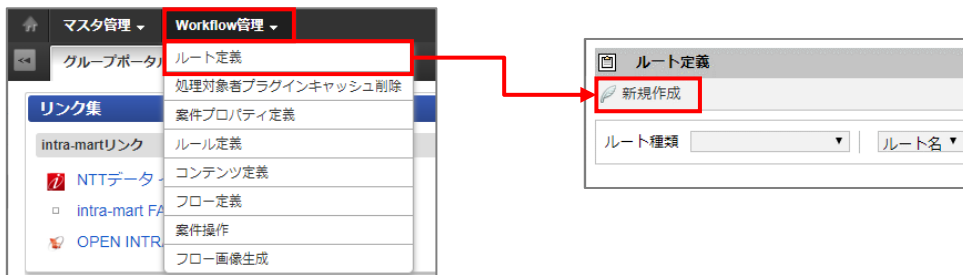
## 3.1 ルート定義の設定

ルート定義では、申請から最終承認までの処理の流れおよびその処理対象者を定義します。

### 3.1.1 ルート定義の登録

新しくルート定義を作成します。

1. 「Workflow 管理」にマウスオーバーして「ルート定義」をクリックし、「新規作成」をクリックします。



2. 「ルート定義－新規作成」画面が表示されます。項目を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

**ルート定義 - 新規作成**

← 戻る

**基本情報**

<b>ルートID (必須)</b>	<input type="text" value="sample1"/>
<b>ルート名 (必須)</b>	英語 <input type="text" value="sample1"/>
	日本語 <input type="text" value="サンプル1"/>
	中国語 (中華人民共和國) <input type="text" value="sample1"/>
<b>ルート種類 (必須)</b>	通常用 ▼
備考	英語 <input type="text"/>
	日本語 <input type="text"/>
	中国語 (中華人民共和國) <input type="text"/>

項目名	入力必須	説明
ルートID	○	ルートを識別するIDです。自動採番されます。 すでに使用されているものでなければ、任意の値に変更できます。
ルート名	○	登録ルートの名称を入力します。 多言語利用の有無にかかわらず、システムで設定されている全ロケールに対して、入力します。
ルート種類	○	「通常用」を選択します。
備考	-	ルートの説明等を入力します。 システムで設定されている全ロケールに対して、入力します。

### 3.1.2 ルート詳細の設定

ルートの有効期間、ルートの詳細を設定します。

1. [バージョン] タブが表示されます。[新規作成] をクリックします。

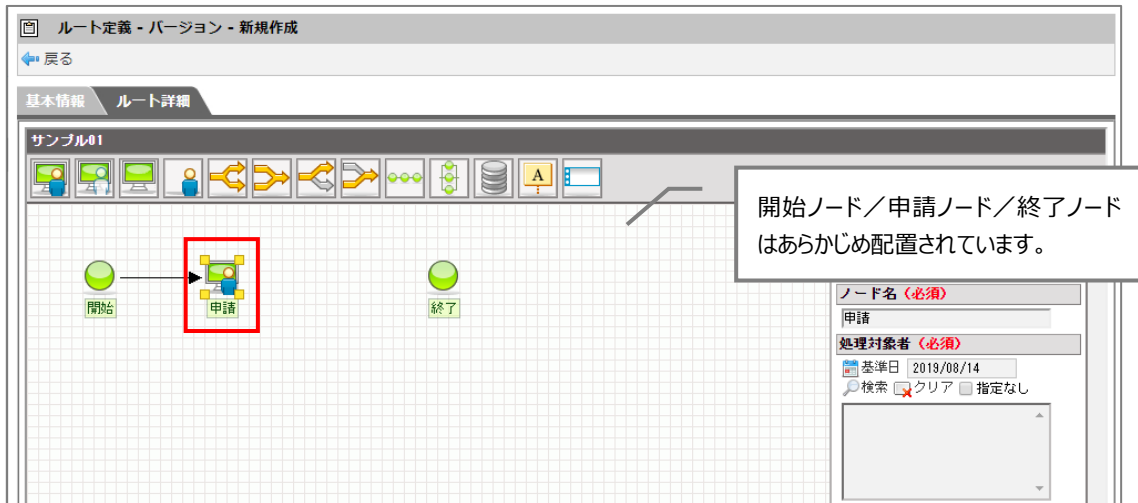
The screenshot shows the 'ルート定義 - 編集' (Route Definition - Edit) page. At the top, there are navigation buttons: '戻る' (Back) and '利用状況確認' (Check Usage). Below that, there are two tabs: '基本情報' (Basic Information) and 'バージョン' (Version). The 'バージョン' tab is active. A red box highlights the '新規作成' (New) button. Below the tabs, there are several input fields and buttons: 'バージョン期間' (Version Period) with '開始' (Start) and '終了' (End) sub-fields, '備考' (Remarks), and '有効' (Valid).

2. 「ルート定義 - バージョン - 新規作成」画面が表示されます。項目を入力し、[登録] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'ルート定義 - バージョン - 新規作成' (Route Definition - Version - New) page. At the top, there is a '戻る' (Back) button. Below that, there are two tabs: '基本情報' (Basic Information) and 'ルート詳細' (Route Details). The 'ルート詳細' tab is active. The form contains several fields: 'ルートID' (Route ID) with value 'sample1', 'ルート名' (Route Name) with value 'サンプル1', 'バージョン期間 (必須)' (Version Period) with 'から' (From) and 'まで' (Until) fields, 'バージョン有効/無効 (必須)' (Version Valid/Invalid) with radio buttons for '有効' (Valid) and '無効' (Invalid), and '備考' (Remarks) with input fields for '英語' (English), '日本語' (Japanese), and '中国語 (中華人民共和国)' (Chinese (People's Republic of China)). A red box highlights the 'バージョン期間 (必須)' and 'バージョン有効/無効 (必須)' fields. At the bottom right, a red box highlights the '登録' (Register) button.

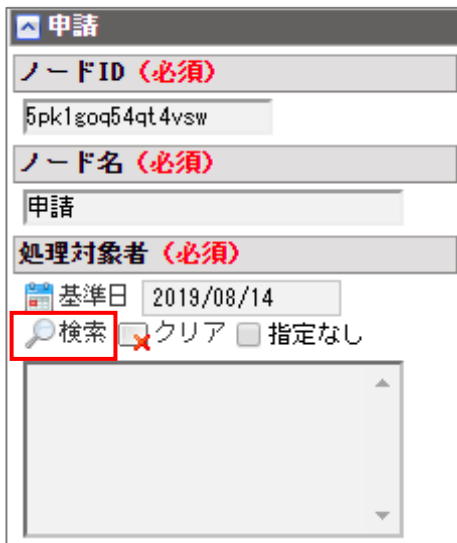
項目名	入力必須	説明
バージョン期間	<input type="radio"/>	ルート定義のバージョンの有効期間を設定します。 バージョン期間の終了日は、必須入力ではありません。空欄の場合はシステム終了日が自動で設定されます。
バージョン有効/無効	<input type="radio"/>	ルート定義のバージョンの有効状態を設定します。
備考	-	ルート定義のバージョンの説明等を入力します。 システムで設定されている全ロケールに対して、入力します。

3. [ルート詳細] タブをクリックします。  
申請ノードを設定します。(開始ノード/申請ノード/終了ノードはあらかじめ配置されています。)  
グリッド上にある [👤] をクリックします。

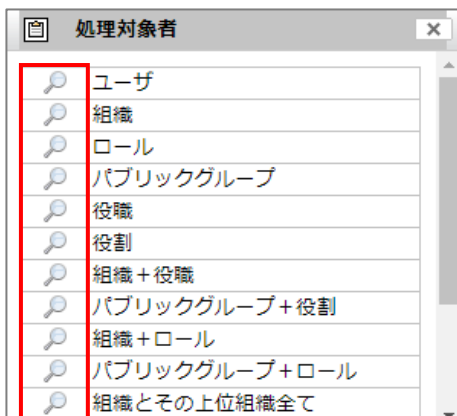


**Point** ルートは、ルートデザイナー上で簡単に作成・編集することができます。  
ワークフローの処理の1単位である「ノード」を組み合わせて構成します。

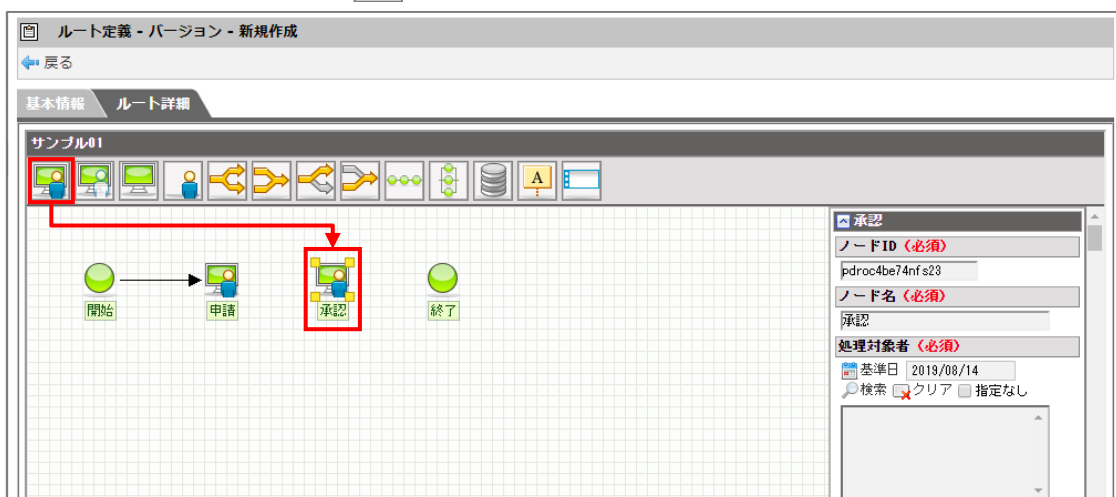
4. 「処理対象者」の「検索」をクリックします。



5. 検索したい処理対象者の [ 🔍 ] をクリックし、処理対象者を選択します。



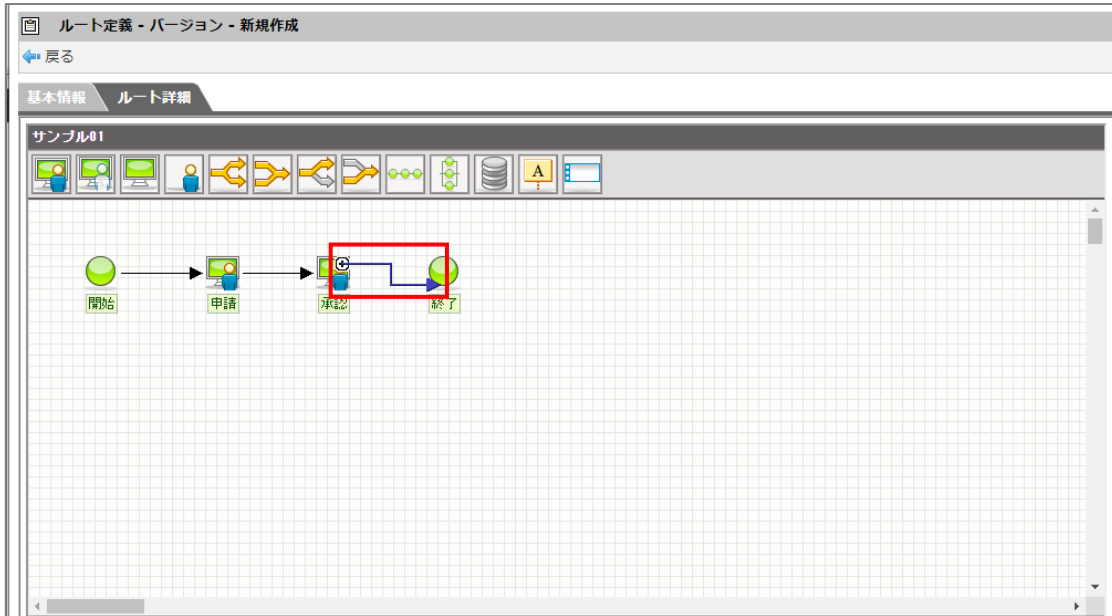
6. 上部に並んでいるアイコンから [ 🖥️ ] をグリッド上にドラッグ&ドロップして承認ノードを追加します。



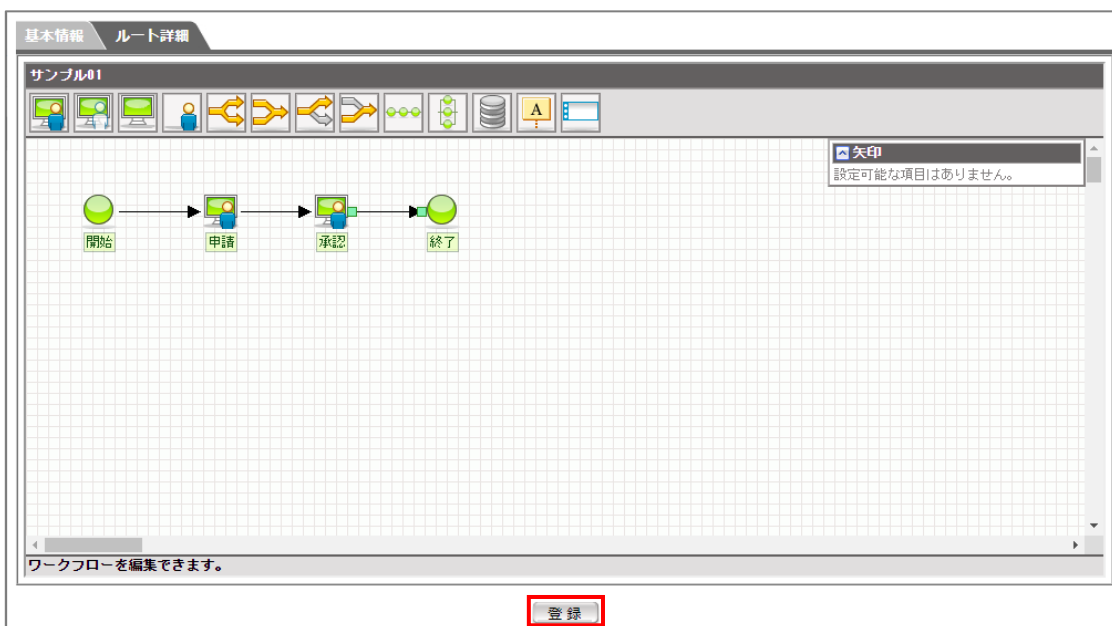
7. 申請ノードと同様に、承認ノードの処理対象者を設定します。



8. グリッド上のノードにマウスオーバーするとアイコンの右上に [⊕] が表示されます。ドラッグ&ドロップで矢印を次のノードへ接続します。



9. [登録] ボタンをクリックします。



## 3.2 案件プロパティ定義の設定

案件プロパティ定義では、ルール判定するための変数を定義します。  
新しく案件プロパティを作成します。

1. 「Workflow 管理」にマウスオーバーして「案件プロパティ定義」をクリックし、「新規作成」をクリックします。



2. 「案件プロパティ定義 – 新規作成」画面が表示されます。項目を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Case Property Definition - New Creation' form. It includes fields for 'Key' (required), 'Key Name' (required) with language options (English, Japanese, Chinese), 'Type' (required) with a dropdown, and 'Usage Type' with several checkboxes. There are also text input fields for 'Remarks' in multiple languages. A 'Register' button is at the bottom.

項目名	入力必須	説明
キー	○	案件プロパティ定義の一意のキーを入力します。 すでに登録されているキーは使用できません。
キー名	○	案件プロパティ定義のキー名称を入力します。 システムで設定されている全ロケールに対して、入力します。
型	○	案件プロパティ定義のキーの型を選択します。 ・文字列 ・数値
使用種別	○	「ルールの条件の変数として使用する」にチェックを付けると、ルール定義で使用できるようになります。必ずチェックを付けます。

## 3.3 ルール定義の設定

ルール定義では、分岐開始ノードや分岐終了ノードで条件分岐の判断を行うルールを定義します。  
新しくルール定義を作成します。

1. 「Workflow 管理」にマウスオーバーして、「ルール定義」をクリックし、[新規作成] をクリックします。



2. 「ルール定義 – 新規作成」画面が表示されます。項目を入力し、[登録] ボタンをクリックします。

ルール定義 - 新規作成

戻る

<b>ルールID (必須)</b>	8fakhetlghihhe2		
<b>ルール名 (必須)</b>	英語		
	日本語		
	中国語 (中華人民共和国)		
備考	英語		
	日本語		
	中国語 (中華人民共和国)		

すべての条件を満たすとき真
  いずれかの条件を満たすとき真

No.	キー	比較	条件値	クリア
1	(型)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型)	<input type="button" value="✕"/>
2	(型)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型)	<input type="button" value="✕"/>
10	(型)		<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 変数 (型)	<input type="button" value="✕"/>

項目名	入力必須	説明
ルール ID	○	ルールを識別する ID です。自動採番されます。 すでに使用されているものでなければ、任意の値に変更できます。
ルール名	○	登録ルールの名称を入力します。 システムで設定されている全ロケールに対して、入力します。
備考	-	ルールの説明等を入力します。 システムで設定されている全ロケールに対して、入力します。
真偽条件設定	-	設定した条件に対して、「すべての条件を満たすとき真」か「いずれかの条件を満たすとき真」を指定します。

項目名	入力必須	説明
キー	-	比較対象となる変数を指定します。案件プロパティに登録済で、使用種別「ルールの条件の変数として使用する」が許可されている案件プロパティのキー名がプルダウンで表示されます。 [型] には、選択した変数の型が表示されます。
比較	-	比較の内容を指定します。  ・「に次を含む」 : キー値と条件値が部分一致するとき ・「に次を含まない」 : キー値と条件値が部分一致しないとき ・「が次と一致する」 : キー値と条件値が完全一致するとき ・「が次と異なる」 : キー値と条件値が完全一致しないとき ・「が次で始まる」 : キー値の始まりが条件値と一致するとき ・「が次で終わる」 : キー値の終わりが条件値と一致するとき ・「が次より大きい」 : キー値 > 条件値 ・「が次以上」 : キー値 ≥ 条件値 ・「が次より小さい」 : キー値 < 条件値 ・「が次以下」 : キー値 ≤ 条件値 ・「が次のいずれかと一致する」 : 条件値にカンマ区切りで入力した複数の文字列に対し、キー値がいずれかに一致するとき
条件値	-	比較対象の条件値を指定します。「固定」か「変数」を指定します。

## 3.4 コンテンツ定義の設定

コンテンツ定義では、ワークフローの各処理で使用する「ユーザプログラム」「ルール」の情報を定義します。コンテンツ定義を利用するフロー定義において、コンテンツに定義された情報を使用することができます。また、コンテンツ定義は期間情報によって区別された「バージョン」によって管理され、バージョン期間情報によって一部の設定を変更できます。

AppsWF では、案件プロパティとルート内で処理プログラムをあらかじめ指定したテンプレートコンテンツを用意しています。このテンプレートをコピーすることで、ユーザプログラムを改めて指定することなく、分岐処理に案件プロパティを利用できます。（新規で作成し、ユーザ自身で指定することもできます。）

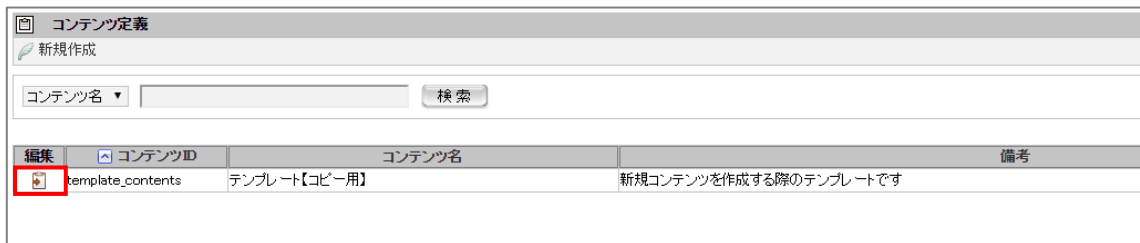
### 3.4.1 コンテンツ定義の登録

テンプレートをコピーして、コンテンツ定義を作成します。

1. 「Workflow 管理」にマウスオーバーして、「コンテンツ定義」をクリックします。




2. 「コンテンツ定義」画面が表示されます。「テンプレート【コピー用】」の [ ] をクリックします。




3. [バージョン] タブをクリックします。



4. [  ] をクリックします。

 コンテンツ定義 - 編集 <a href="#">← 戻る</a>   <a href="#">i 利用状況確認</a>		
基本情報 <b>バージョン</b>		
<a href="#">新規作成</a>		
編集	バージョン期間	
	<a href="#">開始</a>	<a href="#">終了</a>
	2015/09/14	2999/12/31

5. [コンテンツコピー] をクリックします。

 コンテンツ定義 - バージョン - 編集 <a href="#">← 戻る</a>   <a href="#">コンテンツコピー</a>   <a href="#">バージョンコピー</a>	
コンテンツID	template_contents
コンテンツ名	テンプレート【コピー用】

6. 項目を入力し、[登録] ボタンをクリックします。


 コンテンツ定義 - コピー <a href="#">← 戻る</a>	
コンテンツID (必須)	sample1
コンテンツ名 (必須)	英語    template_contents
	日本語    テンプレート【コピー用】
	中国語 (中華人民共和国)    template_contents
備考	英語 <input type="text"/>
	日本語    新規コンテンツを作成する際のテンプレートです
	中国語 (中華人民共和国) <input type="text"/>
バージョン期間 (必須)	2015/09/14  から 2999/12/31  まで
バージョン有効/無効 (必須)	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
備考	英語 <input type="text"/>
	日本語 <input type="text"/>
	中国語 (中華人民共和国) <input type="text"/>
<input type="button" value="登録"/>	

項目名	入力必須	説明
コンテンツ ID	○	コンテンツを識別する ID です。自動採番されます。すでに使用されているものでなければ、任意の値に変更できます。
コンテンツ名	○	登録コンテンツの名称を入力します。システムで設定されている全ロケールに対して、入力します。
備考	-	コンテンツの説明等を入力します。システムで設定されている全ロケールに対して、入力します。

項目名	入力必須	説明
バージョン期間	○	コンテンツ定義のバージョンの有効を設定します。 バージョン期間の終了日は、必須入力ではありません。空欄の場合はシステム終了日が自動で設定されます。
バージョン有効/無効	○	コンテンツ定義のバージョンの有効状態を設定します。

### 3.4.2 コンテンツ詳細の設定

コンテンツの有効期間や利用するルール、ユーザプログラムを設定します。

1. 「3.4.1 コンテンツ定義の登録」でコピーしたコンテンツの  をクリックします。




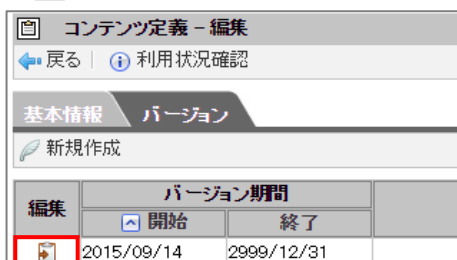
編集	コンテンツID	コンテンツ名
	sample1	サンプル1
	template_contents	テンプレート【コピー用】


2. [バージョン] タブをクリックします。



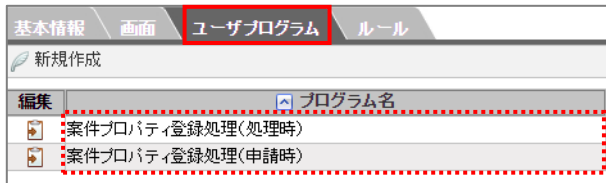
基本情報		バージョン
コンテンツID	template_contents	
コンテンツ名 (必須)	英語	template_contents
	日本語	テンプレート【コピー用】
	中国語 (中華人民共和国)	template_contents

3.  をクリックします。



編集	バージョン期間	
	開始	終了
	2015/09/14	2999/12/31

4. [ユーザプログラム] タブをクリックし、「案件プロパティ登録処理」が表示されていることを確認します。

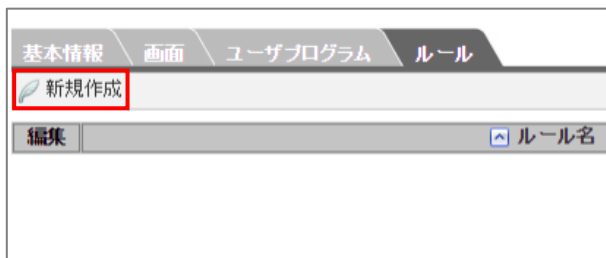


**注意** ユーザプログラムに「案件プロパティ登録処理（処理時）」と「案件プロパティ登録処理（申請時）」が存在しない場合、AppsWF は動作しません。

5. [ルール] タブをクリックします。



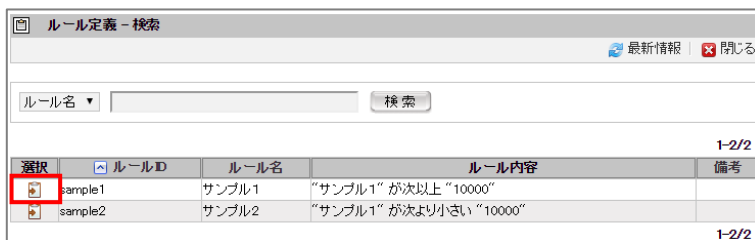
6. [新規作成] をクリックします。



7. 「ルール定義 – 新規作成」画面が表示されます。[選択] をクリックします。



8. 「ルール定義 – 検索」画面に設定したルールの一覧が表示されます。コンテンツで利用したいルールを選択します。





9. [登録] ボタンをクリックします。

ルール定義 - 新規作成	
ルール名(必須)	サンプル1 <span>🔍 選択</span>
ルール内容	“サンプル1” が次以上 “10000”
<input type="button" value="登録"/>	

10. [基本情報] タブをクリックし、[更新] ボタンをクリックします。

コンテンツ定義 - バージョン - 編集	
<a href="#">← 戻る</a>   <a href="#">📄 コンテンツコピー</a>   <a href="#">📄 バージョンコピー</a>	
コンテンツID	sample1
コンテンツ名	サンプル1
<b>基本情報</b>   <a href="#">画面</a>   <a href="#">ユーザプログラム</a>   <a href="#">ルール</a>	
バージョン期間(必須)	2015/09/14 <span>📅</span> から 2999/12/31 <span>📅</span> <span>🗑️</span> まで
バージョン有効/無効(必須)	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
備考	英語 <input type="text"/>
	日本語 <input type="text"/>
	中国語(中華人民共和国) <input type="text"/>
<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="削除"/>	

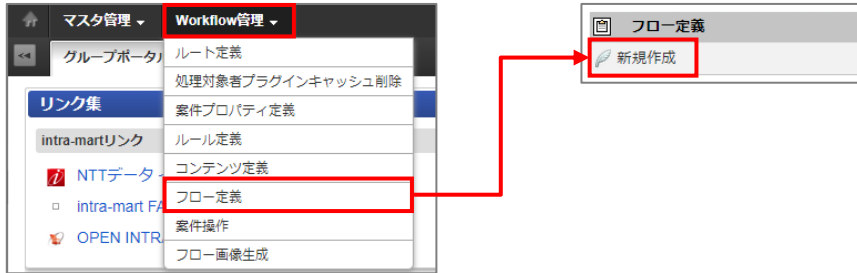
**Point** [画面] タブは使用しません。

## 3.5 フロー定義の設定

フロー定義では、コンテンツとルートを組み合わせて実際に申請可能なワークフローを定義します。

フロー定義は期間情報によって区別された「バージョン」によって管理され、バージョン期間情報によって一部の設定を変更できます。（新規で作成し、ユーザ自身で指定することもできます。）

1. 「Workflow 管理」にマウスオーバーして、「フロー定義」をクリックし、「新規作成」をクリックします。



2. 「フロー定義 – 新規作成」画面が表示されます。項目を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

フロー定義 - 新規作成

[戻る](#)

**基本情報**

<b>フローID (必須)</b>	<input type="text" value="sample1"/>
<b>フロー名 (必須)</b>	英語 <input type="text" value="sample1"/>
	日本語 <input type="text" value="サンプル1"/>
	中国語 (中華人民共和国) <input type="text" value="sample1"/>
<b>備考</b>	英語 <input type="text"/>
	日本語 <input type="text"/>
	中国語 (中華人民共和国) <input type="text"/>

項目名	入力必須	説明
フローID	○	フローを識別する ID です。自動採番されます。 すでに使用されているものでなければ、任意の値に変更できます。
フロー名	○	登録フローの名称を入力します。 システムで設定されている全ロケールに対して、入力します。
備考	-	フローの説明等を入力します。 システムで設定されている全ロケールに対して、入力します。

3. [バージョン] タブが表示されます。[新規作成] をクリックします。

フロー定義 - 編集

[戻る](#)

**基本情報**    **バージョン**

<b>編集</b>	バージョン期間	備考	有効	コンテンツ	ルート
	<input type="button" value="開始"/> <input type="button" value="終了"/>				

4. 「フロー定義－バージョン－新規作成」画面が表示されます。項目を入力し、続けて「コンテンツ」の「検索」をクリックします。

🏠 フロー定義－バージョン－新規作成

← 戻る

フローID	<input type="text" value="sample1"/>
フロー名	<input type="text" value="サンプル1"/>

**基本情報**

<b>バージョン期間 (必須)</b>	<input type="text"/> から <input type="text"/> まで
<b>バージョン有効/無効 (必須)</b>	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
備考	英語 <input type="text"/>
	日本語 <input type="text"/>
	中国語 (中華人民共和国) <input type="text"/>

<b>コンテンツ (必須)</b>	<input type="text"/> <span style="float: right;">🔍 検索</span>
<b>ルート (必須)</b>	<input type="text"/> <span style="float: right;">🔍 検索</span>

項目名	入力必須	説明
バージョン期間	○	フロー定義のバージョンの有効期間を設定します。 バージョン期間の終了日は、必須入力ではありません。空欄の場合はシステム終了日が自動で設定されます。
バージョン有効/無効	○	フロー定義のバージョンの有効状態を設定します。
備考	-	フロー定義-バージョンの説明等を入力します。 システムで設定されている全ロケールに対して、入力します。

5. 「コンテンツ定義－検索」画面に定義されているコンテンツの一覧が表示されます。フローで利用したいコンテンツを選択します。

🏠 コンテンツ定義－検索
 🔄 最新情報 | 🗑️ 閉じる

🔍 検索

1-2/2

選択	📄 コンテンツID	コンテンツ名	備考
<input checked="" type="checkbox"/>	sample1	サンプル1	新規コンテンツを作成する際のテンプレートです
<input type="checkbox"/>	template_contents	テンプレート【コピー用】	新規コンテンツを作成する際のテンプレートです

6. 「ルート」の「検索」をクリックします。

<b>コンテンツ (必須)</b>	<input type="text"/> <span style="float: right;">🔍 検索</span>
<b>ルート (必須)</b>	<input type="text"/> <span style="float: right;">🔍 検索</span>

7. 「ルート定義－検索」画面に定義されているルートの一覧が表示されます。  
 フローで利用したいルートを選択します。

選択	ルートID	ルート名	備考
<input checked="" type="checkbox"/>	sample1	サンプル1	

8. [登録] ボタンをクリックします。

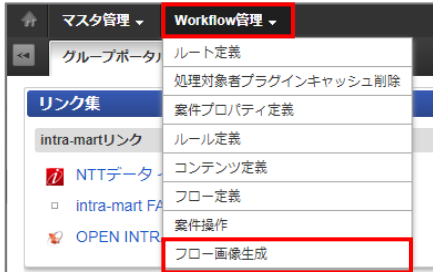
**注意** 「機能設定」は初期設定のまま変更しないでください。

機能設定は初期値のままとします。

## 3.6 フロー画像の生成

フロー画像の生成では、ワークフロー画像を AppsWF に保持します。

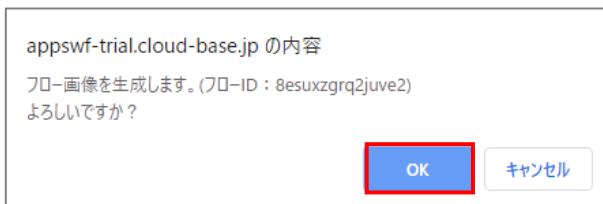
1. 「Workflow 管理」にマウスオーバーして、「フロー画像作成」をクリックします。



2. 「フロー画像生成」画面が表示されます。画像を生成するフローの [📎] をクリックします。

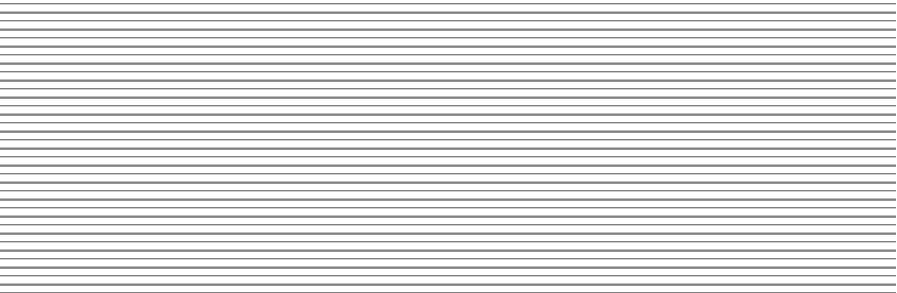


3. 確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。




4. 完了メッセージが表示されます。





AppsWF  
ワークフロー設定ガイド



発行元 株式会社オプロ